

トヨタ会館：展示

トヨタ会館の 1 階は、5 つのテーマのゾーンに分かれている：「環境と感動」、「安全と自由」、「生産と創造」、「企業と社会」、そして「トヨタショールーム」だ。それぞれのゾーンでは、体験型、情報型の展示が定期的に更新される。また、ロビーにも数ヶ月ごとに変わる企画展示がある。館内は時計回りに回れるように設計されており、すべての展示物には日本語、英語、中国語の解説がついている。

「環境と感動」ゾーンでは、「プリウス」のようなハイブリッドカー、完全な電気自動車、「ミライ」のような水素燃料電池車など、より環境に優しく、持続可能な自動車を作るためのトヨタの取り組みが紹介されている。「ミライ」や「プリウス」の断面図を展示し、一般的なガソリン車との違いを紹介している。自動車のモーターやエンジンの仕組みや、トヨタがどのように改良してきたかを説明する動画もある。また、コンセプトカーの展示や、トヨタが設計・建設するグリーンエネルギーで動く新しい都市「Woven City」のコーナーもある。

「安全と自由」ゾーンでは、トヨタの様々なアクティブ/パッシブセーフティ機能の開発に焦点を当てている。アクティブブレーキやディスタンスモニターなどの先進的な安全支援機能を、バーチャルドライビングシミュレーターで体験することができる。

「生産と創造」ゾーンでは、効率性と生産性に関するトヨタのイノベーションを紹介している。トヨタは、企業理念である「カイゼン」（継続的な改善）や「からくり」で知られている。「からくり」とは、従業員にシンプルで純粋に機械的な問題解決策を提案すること。シンプルな道具を組み合わせることで飛躍的な省エネを実現できるという考え方だ。また、複雑な自動化システムとは異なり、単純な機構であれば、壊れてもすぐに問題を発見することができる。

また、トヨタが考案したジャストインタイム生産とは、必要なときに必要な分だけ生産することで、過剰な在庫を抱えずに済むという考え方である。車の塗装や溶接などの体験型の展示とともに、この手法の由来が説明されている。また、実物大の溶接アームロボットが来場者をお出迎えしている。

「企業と社会」のゾーンでは、トヨタの歴史や世界各地で行われているさまざまなコミュニティプログラムを紹介している。トヨタ初の商用車「AA 型」など、トヨタの代表的な車の模型が展示されている。また、NASA と宇宙航空研究開発機構の共同ミッションのためにトヨタが製作した小型ロボットも展示されている。

トヨタショールームでは、トヨタとレクサスの車が入れ替わり立ち替わり展示されており、中には TOYOTA GAZOO Racing の高性能モデルもある。新しい車が頻繁にショールームに登場する。

2 階にある子供向けの特別エリアではブレーキやステアリングなど、車の基本的な部分がどのように動いているのか、また車がどのように作られているのか、古い部品がどのようにリサイクルされているのかなど、インタラクティブな展示で紹介されている。ミュージアムショップでは、あらゆる年齢層の車好きの方に向けたギフトが用意されている。